



会社に入社して、 一番やりがいを感じたことは？

先輩インタビュー

コントロール不能の「天候」と向き合い、 ルート構築に尽力できることです

この仕事での苦労は、天候に左右されること。農作物の収穫量にダイレクトに響くため、台風や長雨は頭の痛いところ。そのため、生産者の情報をマメにリサーチし、確実に集めるルートを確保することを大切にしています。『庄定』の魅力は、お客様の声を仕入れに活かせる点と、社員同士の仲が良く活気があるところ。今後も自分たちが扱っている商品が食生活の基盤を支えていることを誇りに、季節商品をいち早く提供していきたいです。



「欲しい」を
確実に届けます



profile
【名前】相澤史哉【在籍年数】14年7ヵ月
【所属】商業部11課

会社情報

- 設立 1988年12月
- 代表 庄司恵介
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 30人(男20人/女10人)

〒984-0015
仙台市若林区卸町4-3-1
TEL/022-232-8585
FAX/022-283-3380
http://www.shotei.co.jp

求人情報

- 初任給 160,000円
- 福利厚生 各種社会保険完備、各種制度(甲斐金・見舞金)、各種健康相談窓口(24時間健康相談、メンタルヘルス相談)
- 休日休暇 日曜、水曜、祝日※市場カレンダーによる
- 職種 総合職
- インターンシップ受け入れ/あり ■大学生アルバイト受け入れ/あり
- 採用担当者連絡先/TEL022-232-8585(庄司恵美)
✉emi@shotei.co.jp

CORPORATE RESEARCH

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

- 会社案内請求
- 自社説明会
- 会社見学

採用までの流れ

- ① エントリー
- ② 会社見学
- ③ 筆記試験・作文
- ④ 一次面接
- ⑤ 二次面接

- 1 ターレを操りながら、速やかにトラックへ積み込む。スピードと正確さが求められる。
- 2 顧客はスーパーのバイヤーや青果店。日頃のコミュニケーションを通して、市場のニーズを分析・把握するとともに、顧客の要望に応じた提案を行っている。
- 3 仙台中央卸売市場の場内は、午前6時から8時までがピークタイム。この時間が最も活気づく。
- 4 女性社員も多く活躍中。『庄定』のマスコット「ベジバナッコ」によるブランディングも進めている。
- 5 系列会社『サングレイン』では、不定期でマルシェでの直販も実施。エンドユーザーの声を聴く貴重な機会となっている。
- 6 系列会社『恵パウアー』にて、畑での農作物生産にも着手。2020年に初めての収穫を迎える。



file12

しょうてい 株式会社庄定

青果仲卸、農作物産地開発事業、青果PC加工事業、青果販売

畑から食卓へ 健やかな食を運ぶために

速やかにかつ安全に
欲しい青果を集め届ける

日々食卓に並ぶ、色とりどりの野菜や果物。畑からスーパーまで、青果がたどってやってくるその「旅」を支えているのが『庄定』だ。

早朝から仙台中央卸売市場で、荷受会社を通じて青果を受け取り、客先であるスーパーや青果店のトラックに積み込む。客から事前に「何をどれくらい欲しい」という発注を受けたもののみならず、時にはプラスαの提案をすることも。「今、すぐ売れているんです」「豊作のため、お安く販売できます」など、付加価値を示すことで、新たな取り引きが生まれることもあるという。

客が望む商品を集めることは絶対命題であるものの、その時期の天候によっては品薄になることも珍しくない。しかし、そうした場合に備え、全国各地にネットワークを構築し、「どんなときにも質の良い商品を十二分に集める」ためのルートを確保しているのも、同社の強みだ。

追熟のタイミングをコントロールすることも重要な仕事のひとつ。生産者が手塩にかけて育てた農作物を最適な形で届けられるよう、いつ、どのタイミングで、どの商品を出荷するかを常に意識しながら荷を動かしている。

『庄定』の強みは、「1個からの小ロット販売」と「希少野菜の扱いが多い」こと。中でも「ブントレラ」は全国でもいち早く取り扱いを開始した。消費者のニーズが多様化している今、柔軟かつきめ細やかな対応で、よりニーズにマッチした商品を届けている。

現在は、青果の卸業に留まらず、畑での生産や青果の二次加工、パッケージング、直販、販売コンサルティングまで幅広く手掛ける体制を整えつつあり、ゆくゆくは「畑から食卓まで」を見守る、食のワンストップ体制を構築したいという。そのために、日々移りゆくニーズにアンテナを立てながら「欲しい食を過不足なく届ける」ことに邁進していく姿勢だ。